

[illegible]

管	理	部	門	に	当	た	り	、	現	在	は	高	校	教	育	課	
に	改	編)	し	て	仕	事	を	し	て	い	る	中	、	東	日	本
大	震	災	が	発	生	、	警	戒	区	域	等	の	学	校	再	開	
に	努	め	、	そ	の	後	、	教	育	次	長	を	経	て	昨	春	、
思	い	も	か	け	ず	母	校	勤	務	と	な	り	ま	し	た	。	
	着	任	以	来	約	10	か	月	間	、	卒	業	後	も	続	く	
安	積	の	絆	、	安	積	の	大	き	く	強	い	輪	の	存	在	
に	改	め	て	思	い	知	ら	さ	れ	ま	し	た	。	殊	に	「	安
積	桑	野	会	」	の	各	支	部	の	活	動	が	活	発	な	こ	と
は	、	全	国	で	も	ほ	と	ん	ど	例	を	見	な	い	と	思	
い	ま	す	。	母	校	の	校	長	就	任	1	年	目	と	い	う	
こ	と	も	あ	り	、	都	合	が	つ	く	限	り	出	席	す	る	
よ	う	努	め	、	5	月	か	ら	10	月	に	か	け	て	の	土	
曜	日	の	夕	方	、	仙	台	、	宇	都	宮	、	関	西	(今	年
は	京	都	開	催))	福	島	県	庁	、	二	本	松	、	郡	山
市	役	所	、	須	賀	川	、	石	川	の	各	支	部	総	会	に	
お	邪	魔	し	ま	し	た	。	こ	の	他	に	も	、	青	森	、	
盛	岡	、	東	京	、	福	島	(県	庁	桑	野	会	と	は	別)
本	宮	、	安	積	町	、	湖	南	、	猪	苗	代	、	三	春	、	
矢	吹	、	い	わ	き	、	白	河	、	香	港	・	華	南	の	支	
部	が	現	在	あ	り	ま	す	が	、	で	き	れ	ば	定	年	ま	
で	の	3	年	間	で	全	て	の	支	部	総	会	に	出	席	し	
た	い	と	考	え	て	い	ま	す	。								
	他	校	で	も	県	内	外	に	同	窓	会	組	織	は	あ	り	
ま	す	が	、	あ	ま	り	活	動	し	て	い	な	い	の	が	現	
状	で	、	一	方	安	積	桑	野	会	は	、	総	会	の	開	催	
だ	け	で	な	く	、	今	年	度	発	足	し	た	「	関	西	桑	野

H25東京桑野会会報

会	学	生	会	」	の	よ	う	に	、	現	役	の	大	学	生	を	支	
援	し	た	り	交	流	・	親	睦	を	図	る	組	織	が	あ	る		
な	ど	活	動	が	と	て	も	盛	ん	で	あ	り	、	し	か	も		
母	校	安	積	へ	の	熱	い	思	い	を	持	っ	た	先	輩	方		
が	実	に	大	勢	い	て	、	安	積	の	絆	を	益	々	強	く		
し	、	ま	た	、	安	積	の	輪	を	広	げ	て	い	ま	す	。		
	来	年	度	は	創	立	130	周	年	、	桑	野	の	現	在	地		
に	移	っ	て	か	ら	数	え	て	も	125	年	と	い	う	大	き		
な	節	目	の	年	に	当	た	り	ま	す	(私	事	で	す	が	、		
90	周	年	を	生	徒	と	し	て	、	110	周	年	を	教	諭	と		
し	て	、	130	周	年	を	校	長	と	し	て	、	20	年	刻	み		
で	大	き	な	行	事	を	経	験	す	る	こ	と	に	な	り	、		
こ	の	サ	イ	ク	ル	だ	と	、	私	が	生	き	て	い	れ	ば		
77	歳	の	年	に	150	周	年	を	迎	え	る	こ	と	に	な	り		
ま	す)	。	昨	年	10	月	に	仮	オ	ー	プ	ン	し	た	安	積	
歴	史	博	物	館	(私	は	つ	い	「旧	本	館	」	と	言	っ	て		
し	ま	う	の	で	す	が)	も	完	全	復	活	の	予	定	で	す	。
	生	徒	達	に	は	、	安	積	で	場	所	・	時	間	や	言		
葉	・	記	憶	を	共	に	す	る	こ	と	、	安	積	と	い	う		
学	校	文	化	を	3	年	間	共	有	す	る	こ	と	が	安	積		
で	学	ぶ	最	大	の	意	義	で	あ	り	、	安	積	の	誇	り		
・	プ	ラ	イ	ド	で	あ	る	と	繰	り	返	し	語	り	か	け		
て	い	ま	す	。														
	東	京	桑	野	会	の	皆	様	に	も	、	何	か	と	御	協		
力	を	頂	く	こ	と	が	あ	る	と	思	い	ま	す	が	、	今		
後	と	も	本	校	の	教	育	活	動	に	御	理	解	と	御	支		
援	を	賜	り	ま	す	よ	う	お	願	い	申	し	上	げ	ま	す		

[illegible]